

建設新聞



発行所
建設新聞社

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5

市外局番(022)221-下記番号

総務部 4601

FAX221-4633

編集部 4602

FAX217-4170

編集事業部 4603

FAX221-4637

営業部 4604

FAX268-6416

編集事業部情報室 4606

FAX221-4637

©建設新聞 2017

新工法・技術を披露

日綜産業（小野大代表取締役社長）は7日、8日の2日間、仙台市の夢メッセみやぎで開催された「EE東北17」に出展した。今回は先行床施工式フロア型システム



デモ施工の様子

日綜産業 EE東北17に出展

吊足場「クイックデッキ」に加え、「法面作業構台マルチアングル工法」、プラント用足場「プラワンシリーズ」、防水養生シート「クイックラップ」などを展示。施工デモンストレーションなども披露した。「クイックデッキ」は軽量ながらもトラス構造で高い強度を誇るジョイスト（主梁）と高強度チエーンを組み合わせた先行床施工式のフロア型システム吊足場。2014年6月の発売以来、納入・稼働中の現場は全国で200カ所を超えている。

「法面作業構台マルチアングル工法」はことし2月、新技術情報提供システム（NETIS）に登録。ハンマー1本で組み立て・解体が可能で、角度調整式フレームを使用すればスタート部分が一人でも組み立てられ、従来に比べ足場工事期間を半分に短縮することができるという。

「プラワンシリーズ」は単管足場用番線レスシステムで、今回は単管で組まれた足場に取り付けることができる2段手すり・幅木一体型の伸縮手すり枠「プラワンガード」を展示した。

「クイックラップ」は、橋りょう塗装などの現場で有害物質を外部に拡散させないようにする熱収縮・密着型防水養生シート。クイックデッキと組み合わせることで、作業者にも近隣関係者にも安全・快適な作業空間を提供する。

建設通信新聞

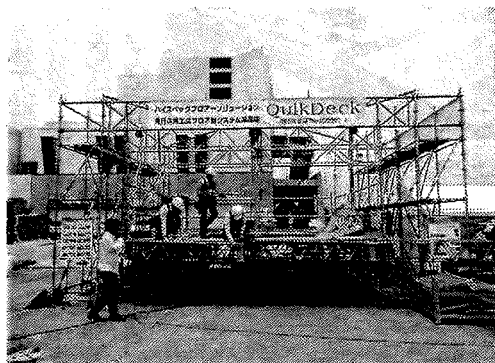
発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2017

日綜産業がE.E東北に出展

日綜産業は7、8の両日、仙台市内の夢メッセみやぎで開催していたE.E東北17に、先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」や、新商品の「クイックラップ」・「プラワンシリーズ」などを展示した。クイックデッキは、大空間の建築工事における天井工事や高架橋工事などに仮設の作業フロ

アを構築する吊り足場で、構成部材がすべてシステム化されているため、安全で施工性の高いフラットな足場を専用工具を使わずにスピーディーに組み立てることができる。2014年6月の発表から3年で、納入稼働中の現場は200件を超えている。クイックラップはクイックデッキをベースに、加熱により

新商品など展示



シート同士を溶着して外周部およびプラスチック作業空間を間仕切りし、外部と遮断することで粉塵の飛散を防止する。屋外展示場に設けられた同社のブースでは、作業員がクイックデッキとともにクイックラップの施工デモンストレーションを実施した。このほか、2月にNETIS

クイックデッキのデモンストレーション
（新技術情報提供システム）登録した「法面作業構台マルチアングル工法」、単管足場のはしごや足場板などを簡易に固定できるワンタッチ取付型金具「プラワンシリーズ」も出展した。デモンストレーションでは、クイックデッキとクイックラップ、プラワンシリーズの実演がそれぞれ行われ、建設関係者や学生ら多くの来場者が、スムーズに進む取付作業の様子を興味深そうに見つめていた。

福島建設工業新聞

発行所

福島市西中央2丁目59
(郵便番号960-8074)

福島建設工業新聞社

電話(024)534-7456(大代表)

©福島建設工業新聞社
(公社)日本専門新聞協会加盟紙

ホームページ

ホームページアドレス

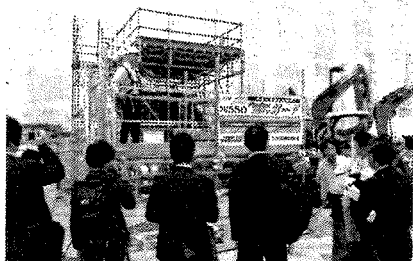
<http://www.fk-news.co.jp>

e-mail
hensyu@fk-news.co.jp

法面作業構台など出展

「クイッククラップ」デモも

日綜産業 E.E.東北



日綜産業(本社||東京
都中央区、小野大社長)

は7、8日に仙台市の夢
建設技術公開「E.E.東
北17」に、先行床施工
式フロア型システム吊
足場「クイックデッキ」
をはじめ、今年NET
IS登録した「法面作
業構台マルチアングル
工法」やプラント用足
場「クイックデッキ」

法面作業構台マルチア
ングル工法のデモ

場「ブラウンシリーズ」
新製品の防水養生シート
「クイッククラップ」など
を出展し施工デモンスト
レーションを行った。

クイックデッキは、橋
梁、プラント、大空間建
築などアクセスが困難と
された新設、メンテナンス
ス工事で高い安全性と施
工性、効率性を発揮する
先行床施工式のフロア型
システム足場。発売から
付エアシャワーを設置し

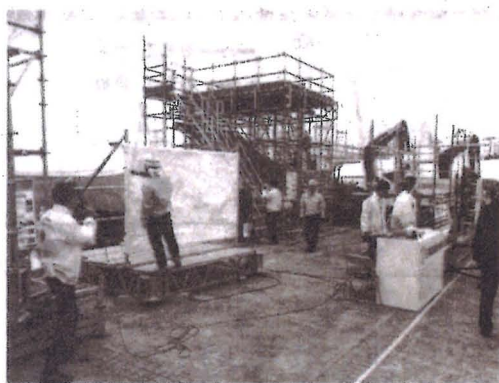
丸3年が経過し、これま
でに納入・稼働中の現場
は200件を超えた。

また、今回は橋梁塗装・
プラスト工事における理
想的な作業ステーション
「サンライトステーション」
について説明。使用
する防水養生シート「ク
イッククラップ」の施工デ
モンストレーションも行
った。クイックデッキを
ベースに、外周部および
ブラスト作業空間を「熱
収縮・密着型防水養生シ
ート・クイッククラップ」
で間仕切りし、外部と遮
断。出入口部には集塵機
を減を実現などの特長があ
る。

作業員の衣服に付着した
粉塵を除却し、作業ステ
ーション外部への拡散を
防止する。

「法面作業構台マルチ
アングル工法」は今年2
月にNETIS登録した
新工法で①組立・解体は
ハンマー1本で可能②多
様な接接地材により地形
に合わせて柔軟に対応可
能③角度調整式フレーム
を使用するとスタート部
分が一人でも簡単に組立
可能④従来型工法に比べ
足場工事期間の約50%削
減を実現などの特長があ
る。

日綜産業の防水養生シート EE東北17で施工デモ



新製品「クイッククラップ」の施工デモ

【仙台】日綜産業(本社)東京都中央区、小野大社長)は、7、8日に仙台市の夢メッセ

みやぎで開催されたEE東北17で、新製品の防水養生シート「クイッククラップ」の施工デ

モンストレーションを実施した。

「クイッククラップ」は厚さ0・3mmの乳白色のポリエチレン製で、専用ヒートガンで加熱しシート同士を溶着。同時に熱で収縮することで張り強度を持つ。従来の養生シートやボードと比べ採光性も高く足場内部を明るくでき、シート同士も密着していることで作業時の汚染物の漏えいもないという。作業後は廃プラスチックと

して処分できる。

先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」と合わせて使用することで吊元の少ない無間隙無段差の足場を構築できる。同社は「橋梁塗装・プラスト工事における理想的な作業ステーション」として、このクイックデッキをベースに、外周部とプラスチック作業空間とをクイッククラップで間仕切りし外部と遮断、出入口に集塵機能付エアシャワ

ーを設置する「サンライトステーション」を提案する。国土交通省の新技术情報システム(NETIS)登録となっている「クイックデッキ」は発表から丸3年で納入・稼働中の現場は200件を超えた。

このほか今回の展示では、今年2月にNETIS登録を行った「法面作業構台マルチアングル工法」やプラント用足場「プラワンシリーズ」を出展した。

日刊建設産業新聞

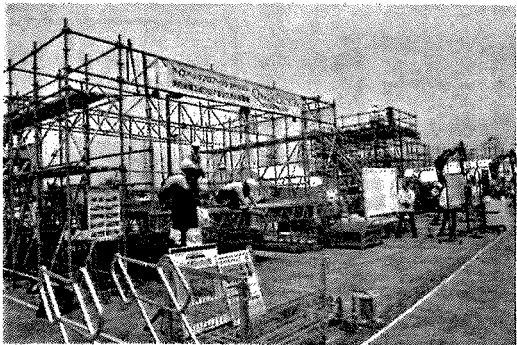
EE東北17に組立デモ展示

吊足場の「クイックデッキ」など 日綜産業

「広げよう新技術 つなげよう未来へ」をテーマに、仙台市で7日から2日間にわたって1万5700人が来場し、国内最大規模で開催されたEE東北17に日綜産業が、吊足場の生産性革命を実現した先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」と地形に合わせて柔軟に対応できる法面作業構台「マルチアングル工法」、単管足場作業の安全性と作業性

を追求した単管足場用伸縮手摺棒「ブラワンガード」、さらに熱収縮・密着型の防水養生シート「クイックラップ」を出展、それぞれ作業員による組立デモンストレーションなどを行った。写真。

「クイックデッキ」は、これまでアクセスが困難だった橋梁、プラント、造船、大空間建築などのメンテナンス工事などに、高い安全性と施工性、効率性を発揮するもので、未経験者や熟年労働者でも短期間のトレーニングで吊足場を安全に施工でき、主体足場の板張り防護工の内蔵で生産性が格段と向上するなど多くの特徴を備えている。



熊本地震の復興

興工事や東海道新幹線改修工事に採用されるなど、14年6月発売以来全国で100以上の現場で実績を残しており、東北では、橋梁補修や建築改修での実績も多く、長寿命化工事にも安全安心施工を実現するツールとして展開を図っている。

EE東北17に出展したクイックデッキは、電動揚重機で最大200平方メートルまで一括してワイヤードリフト可能なシステムで、より広い吊足場が短時間で構築でき、見学した参加者の関心を集めていた。

法面作業構台の「マルチアングル工法」は、ハンマー一本で組立・解体がスピーディにできる、振動によるクサビの緩みが無いほか、様々な地形に合わせて柔軟に対応可能な特徴を持ち、従来工法に比べ半分の工期短縮を実現し、労務費

の大幅低減を可能にした。

クイックデッキ、マルチアングル工法ともNETISの登録技術として注目されている。「ブラワンガード」は、2段手摺りと幅木15センチ一体化で作業効率をアップ、35センチの伸縮で単管足場に対応した番線レスシステムで、現場でクランプや単管の落下防止に効果を発揮する。

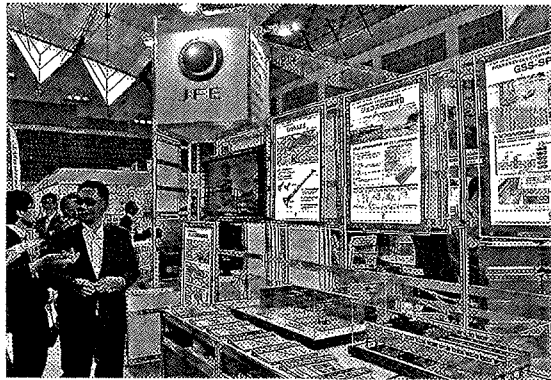
また今回始めてEE東北に出展した「クイックラップ」は、バーナーなどでポリエチレンシートを加熱することで、足場内部の有害物質や汚染水の外部拡散を防止する養生シートで、橋梁塗装プラスト工事などに採用されている。

今野宏昭事業本部法面事業部長は、「いずれの商品も、吊足場工事などでの生産性革命を実現する新技術。国交省が進めるi-Constructionの理念にも即しており、全国各地に営業展開を図りたい」と語っている。

日刊 建設工業新聞

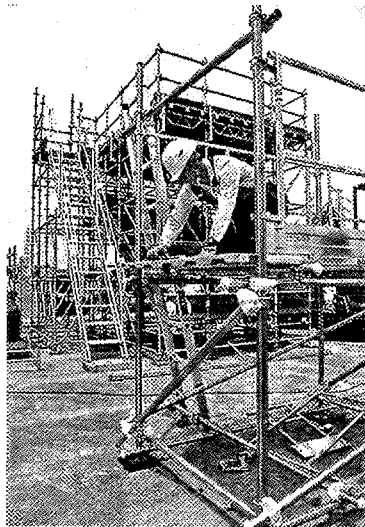
全国で開催される建設技術展の中で今年初となる「建設技術公開EE東北17」(EE東北実行委員会主催)が7、8の両日に仙台市宮城野区で開かれ、過去最多の約1万5700人が会場の夢メッセみやぎを訪れた。

主催者事務局によると、来場者数は初日が約8300人、2日目が約7400人。屋内の本館展示棟と屋外展示場に企業らが出展した技術の件数は昨年より24件増加し、過去最高の869件となった。



ジェコスの展示

ジェコスは屋内の本館展示場に、主力商品の「GS S-SPA工法」や「仮設橋梁」「Ecoラム工法」を出展。工事費や環境負荷



日綜産業のプラワンガード

EE東北'17が閉幕

過去最多 1万5700人来場

の低減に寄与する同社の独自技術を来場者らに印象付けた。出展商品のうち「GS S-SPA工法」は、工事で発生する建設汚泥の処分量と処分費用を30%程度削減できる画期的な工法として発注者らの注目を集めていた。

一方、屋外展示場では、日綜産業が単管足場用伸縮手すり枠の「プラワンガード」や、「先行床施工式フロア型システム吊足場 クイックデッキ」「法面作業構台マルチアングル工法」を出展。加熱して溶着可能な新商品の防水養生シート「クイックラップ」の実演も行い、多くの見学者らに作業性の高さなどを訴求していた。

福島建設工業新聞

発行所

福島市西中央2丁目59
(郵便番号960-8074)

福島建設工業新聞社

電話 (024) 534-7456 (大代表)

©福島建設工業新聞社
(公社)日本専門新聞協会加盟紙

ホームページ

ホームページアドレス

<http://www.fk-news.co.jp>

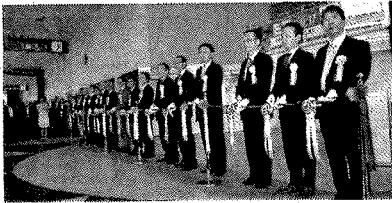
e-mail

hensyu@fk-news.co.jp

建設事業の新材料、新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開する「建設技術公開E E(エンジニアリング・エキシビション)東北17」が7、8日、仙台市の夢メッセみやぎで開催された。今回で27回目。「広げよう新技術つなげよう未来へ」をテーマに全国最大規模の292者、869技術が展示された。7日の開会式で川瀬弘之東北地方整備局長は「建設現場の生産性を向上させる取り組み「i-Construction」の中核となるICT技術など「設計・施工」維持管理・予防保全」「建設副産物・リサイクル」「防災安全」「その他共通」の5つの技術分野に区分した869技術を展示した。特設ステージでは、出展技術の中から64技術の新技術プレゼンテーションが行われた。

ICT活用技術など過去最多

869技術出展 E E東北17



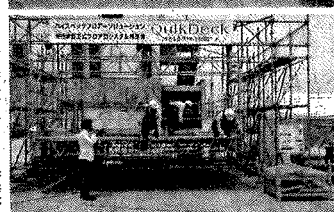
弘之東北地方整備局長は「建設現場の生産性を向上させる取り組み「i-Construction」の中核となるICT技術など「設計・施工」維持管理・予防保全」「建設副産物・リサイクル」「防災安全」「その他共通」の5つの技術分野に区分した869技術を展示した。



会場では、建設現場の生産性を向上させる取り組み「i-Construction」の中核となるICT技術など「設計・施工」維持管理・予防保全」「建設副産物・リサイクル」「防災安全」「その他共通」の5つの技術分野に区分した869技術を展示した。



(上から)開会式でのテープカット、出展した寿建設、希久多工業、日本キャタビラー、福井コンピュータ



8日には3年目となるUAV(ドローン)競技会が開かれ、総合技術部門7チームと一般参加部門8チームが参加し空撮・計測技術を競った。主な出展企業として、寿建設がトンネル漏水対策「点導水工法」、トンネル内部パネルをクリーンな状態に維持する

「風ホウキ」、ブレイカー、飛散防止ハツリ・ガード」を紹介。希久多工業は丸万コンクリートと共同で管渠型自由勾配側溝マルチスリット側溝を出展した。

日本キャタビラーは少人数で作業可能なコンパクトなLEDコントロール2Dガイダンス、Connectorコンストラクション、福井コンピュータは3次元点群処理ソフトを用いた施工土量計測、3次元設計データ作成システムなど。

坂内セメント工業所は、iEコンと共同で自在R IS登録のプラスチック連続基礎、路肩用自在R製「クロスウェーブ」をた

「法面作業機台マルチアングル工法」、ブランド用足場「ブラウンシリ」など各種仮設機材を出展。クイックデッキなどのほか、新製品の防水養生シート「グイックラップ」の施工デモンストラーションを行い、墜落

労働災害撲滅に向けた安全・安心な作業を提案した。

旭洋設備工業はNET全・安心な作業を提案した。

(上から)坂内セメント工業所、日本パーツセンター、東北ベガス、旭洋設備工業、日綜産業の展示コーナー